

関東運輸局プレスリリース

平成29年9月5日

関東地区の海なし県の子供たちが「海の仕事」を学習

将来を担う子供達に「海」に親しみ、関心を持ってもらうため、横浜港等の海事関連施設において学習・体験するプログラム「海と日本 PROJECT 関東海っ子塾 2017」を開催。山梨・群馬・栃木・埼玉の小中学生 105 名を含む 136 名が参加し、海洋研究開発機構や海上自衛隊等の施設で「海」に関する仕事について理解を深めました。

このプログラムは、普段海と触れ合う機会のない関東地区の海なし県（山梨・群馬・栃木・埼玉）の子供たちを対象に、関東運輸局、関東地方船員対策協議会、関東旅客船協会等の関係団体からなる「関東地区海っ子塾実行委員会」の事業（日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業）として実施しているもので、今年は3回目の取り組みになります。

今回は、「海」に関する仕事について理解を深めていただくため、以下の日程により行いました。



護衛艦の大砲をバックに艦長さんと記念撮影

「海の安全を守る仕事」コースでは、海上自衛隊横須賀地方総監部における護衛艦の見学、海上保安庁横浜海上防災基地における施設見学や救難資機材の着用体験、海上保安資料館横浜館における工作船及び回収物の展示見学のほか、海上保安庁や税関の仕事に関する講話を聞き、日本の海を守る仕事について理解を深めました。

また、「海について知識を深めるための仕事」コースでは、海洋研究開発機構（横須賀本部及び横浜研究所）において潜水調査船「しんかい6500」や海洋調査船、地球シミュレータの見学、高水圧の実験のほか、「しんかい6500」や地球深部探査

船「ちきゅう」に関する講話を聞き、「海」の不思議を解明するための仕事について学びました。

関東運輸局としては、将来的にこのプログラムを海なし県の夏の定例行事として定着させるよう取り組んでまいります。

コース	日 程	参 加 者 [※カッコ内は小中学生の数]
「海について知識を深めるための仕事」コース	8月21日（月）～22日（火）	山梨県の小中学生等 37(29)名
	8月23日（水）～24日（木）	埼玉県の小中学生等 38(32)名
「海の安全を守る仕事」コース	8月21日（月）～22日（火）	群馬県の小中学生等 34(24)名
	8月23日（水）～24日（木）	栃木県の小中学生等 27(20)名

(問い合わせ先)

国土交通省関東運輸局海事振興部旅客課 担当：内山、山下

電話：045-211-7214 FAX：045-201-8788

(配布先) 横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、山梨県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、物流専門紙



横浜海上防災基地で潜水士が訓練するプールを見学



救難資機材の着用体験



工作船を見学



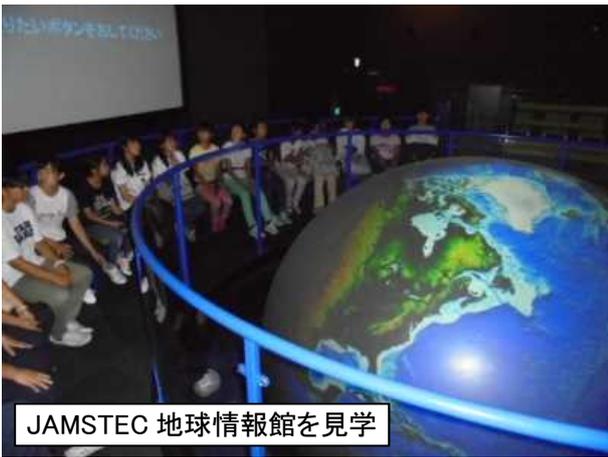
横浜港シンボルタワーをバックに記念撮影



海洋調査船をバックに記念撮影



「しんかい 6500」を見学



JAMSTEC 地球情報館を見学